

クラス番号	325	担当教員名	野尻 紀恵
		他専修学生受入上限人数	2名
テーマ	子どもの育ちのための切れ目のない支援～地域における実践から考える～		
著書・論文	『学校福祉とは』（共著：ミネルヴァ書房 2018） 『子どもの隠された貧困を支援するスクールソーシャルワーカーの役割』（単著：大学図書出版 2021） など		
研究課題等	【研究課題】 1. 子どもの育ちを切れ目なく支援する地域の居場所創出の研究 2. 子どもの生活課題を軸とした福祉教育の研究 3. 学校の福祉的基盤とスクールソーシャルワークの研究 4. 学校事故事件の被害者および被害者家族の権利回復に関する研究		

ゼミナール概要

キーワード：スクールソーシャルワーク、学校福祉、教育福祉、福祉教育、居場所支援

〈私の課題意識とゼミの目的〉

子どもは人間としての誇りを持って育つ権利を有しています。しかし現実には、子どもは様々な困難を抱えています。実際の子どもの生活課題は複雑です。子どもの抱える生活課題の背景には、貧困や生活格差の問題、子どもに関心が向けられない地域や家族の実態というような、生活実態の困難さが多々存在します。さらには、社会の崩壊、地域社会や家庭・親子関係にまで及ぶ人間関係の疎外なども視野に入れなければなりません。重要なことは、子どもの生活の問題を全面的にとらえること、子どもの現実についてリアルにとらえることです。それらをしっかりと踏まえた上で、子どもを取り巻く環境（家庭、学校、地域など）への福祉的アプローチ、および切れ目のない支援ネットワーク構築について検討することを目的とします。

〈ゼミの進め方〉

「共に、丁寧に、考え、行動する」をゼミのモットーに協議しながら進めていきます。具体的に行う活動や進め方は次の3点です。

- ① 子どもが過ごす地域や学校といった現場や、スクールソーシャルワーク実践現場にフィールドワークに出かけ、課題に向き合ってディスカッションをすることを大切にします。また考えをきちんと文章に表現できることを目標にします。フィールドで学んだことを文献で確認し、考えたことをしっかり文字に表し発表します。
- ② ゼミでは「ふぁみりー基地」＝「子どもの夜の居場所支援」を学生主体で実際に行います。この活動に必ず参加し、そこでの実践活動を通して、子どもへの切れ目のない支援構築のあり方について研究します。また、野尻が研究フィールドとしている神戸、大阪、和歌山などの「子ども食堂」や「子どもの居場所」「学修支援」に出かけるゼミ合宿を行います。現場のことは現場から教えてもらいましょう。
- ③ ①②の実践活動と文献研究をしっかりと行うことで、卒業論文を執筆します。よって、相当枚数の卒業論文を執筆することが求められます。

〈ゼミの計画〉

子どもの夜の居場所支援「ふぁみりー基地」の実践を行います。

コミュニティ・スクールの活動に参加します。

3年次 前期：文献講読、グループ研究、フィールドワーク

夏季：研究フィールドワーク合宿 @和歌山県白浜町 or 和歌山県有田市 or 神戸市灘区 等

後期：文献講読、卒論テーマ設定および研究計画を立てて卒業研究を進める、フィールドワーク

3月：ゼミ合宿（場所はゼミ生と共に確定する）

4年次 前期：卒論のテーマに沿って研究を進める、各自の研究についてゼミ内でディスカッション

8月：卒論合宿 @1泊美浜町 9月：卒論ディスカッション 10月～12月：ゼミ内卒論発表

2月：卒業合宿

担当教員からのメッセージ



大阪府茨木市でスクールソーシャルワーカーとして活動をしてきたこと、愛知県内の市町でのスクールソーシャルワーカーへのスーパービジョンを通して、「子どもの抱える生活課題」への支援のあり方、また、それぞれの子どもが持つ「強み」を見つめ、子どもをエンパワメントする支援とはどのようなものであるのかについて考え、実践を試みてきました。子どもを中心に据えたソーシャルワークについて一緒に考えましょう。そして、地域で一緒に実践してみましょ！また、野尻ゼミでは、地域の大人のみなさんとの交流もとても大切にしています。そして！！「ふぁみりー基地」で、美味しいご飯を作って食べましょ～。野尻ゼミの取り組み「ふぁみりー基地」は地域の皆さんからも応援してもらっています。